

日本建築学会大会 荷重・信頼性部門 若手優秀発表賞

2021 年度 (4 名)

- 鈴木奨之 : リスクに基づく期限付き建築物の風荷重および雪荷重の簡易評価法
牧葉里 : 1 層および 2 層モデルを用いた Q- Δ 共振による超高層建物のねじれ応答の評価
堂本耕介 : 長大鉄骨屋根の運用時における部材温度の実測と温度変形に関する検討
その 3 実測結果と解析による温度変形の推定
平塚紘基 : 履歴型ダンパーを有する多層制振建物の風応答時における損傷評価
その 3 各層の損傷に寄与するエネルギーの予測

2019 年度 (4 名)

- 水鳥文哉 : 水平変位に直交する慣性力が誘発するねじれ応答の振動台実験
平間ちひろ : 非定常的な水平振動に対する設計における居住性能評価法の提案とその検証
その 2 振動数特性を補正するフィルタを用いる手法の適用
金子春花 : ハンググライダー形状を模擬した片持ちスタンド屋根の風圧力特性に関する実験的研究
丹原千里 : LES 細密計算結果に基づく三次元角柱の局部負圧時空間構造とピーク評価への影響

2018 年度 (4 名)

- 伊木さとみ : 壊滅指標を用いた地域減災最適化戦略構築に向けた予備的検討
亀谷裕紀 : 円筒形構造物に作用する津波力に関する基礎的検討 その 2: 数値流体解析
真崎智亮 : FRP 部材を用いた園芸用パイプハウスの耐風性向上可能性に関する研究
松居健人 : ドーム建物内における自立型計測装置を用いた飛散物の空力特性の直接計測の試み

2017 年度 (4 名)

- 水谷由香里 : 全国の 250m メッシュごとにおける木造住宅の地震リスク評価に関する研究
畠山智貴 : 大庇基部に作用する風力の特性に及ぼす矩形建物規模の影響
団栗直希 : 免震部材の疲労損傷に対する設計手法の提案 信頼性設計からのアプローチ
今野大輔 : 強風災害時の建物破壊過程を考慮したリスク評価手法の開発 その 2 瞬間的な開口開放時の内圧上昇に及ぼす開口面積と風速の影響

2016 年度 若手優秀発表賞 受賞者 (6 名)

- 根本 毅 : 自然災害を対象にした地域レジリエンスモデルの提案
松崎丈佳 : 期限付き建築物の風荷重低減における一時補強を考慮した断面設計
高岡良輔 : 平行弦トラス梁の耐荷特性に及ぼすウェブ材の節点偏心の効果について
渡部 慶 : 通気工法を用いたサイディング外壁に作用する風力に関する実変動風圧実験
安永隼平 : 風荷重を受ける円筒形貯槽の座屈・振動特性に関する実験的研究
村上智一 : 風応答観測記録に基づく超高層免震建物の免震ダンパーの疲労損傷評価 その 2 10 分間毎のデータを用いた疲労損傷評価手法の提案

2015 年度 若手優秀発表 表彰者 (4 名)

- 高橋駿介： 竜巻通過時の急激な気圧降下による建物作用外力 その 2 数値計算による実験内圧変動の検討
- 今野尚子： LES による超々高層建築物周辺の風環境に関する検討 (その 2)建築物に対する風向角が 45° の場合
- 中川慶一： 限界状態設計法における構造特性係数 kD 値の統計量の簡易評価手法
- 高舘祐貴： 妻面開放型骨組膜構造建築物の組み合わせ荷重に関する考察